

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32220
政策名 (章)	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当課	土木部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 安全でゆとりある道路の整備		道路整備課
施策名	身近な生活道路の整備	課長名	榎田 和典

## 1 施策の概要・目的

- 市街地の交通機能の充実や安全な生活環境の確保を図るため、幹線道路を補完する地区集散道路の整備を推進する。
- 幹線道路と地区集散道路を補完する区画道路の整備を推進する。
- 道路環境の改善と防災機能や安全性の向上をめざし、狭あいな道路の拡幅整備を推進する。

## 2 施策の現状

- 地区集散道路等の整備には、用地費・補償費を含め相当額の事業費を要するため、国費及び県費等の補助事業の積極的な導入を図ってはいるが、整備計画に見合った財源の確保がなされていないため整備が遅れている。
- 寄付道路の整備については、寄付していただく拡幅用地所有者の合意形成に時間を要すること、さらに、合意が得られても財源的にも厳しいことにより、整備が遅れているのが現状である。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

1,139,217 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

1,849 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 30 番目です。

### (4) 施策に要している人員

19.38 人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値				目標
			現状	目標	達成度	目標年度	
指標1	地区集散道路整備の実施計画に対する達成率(H11～H14年度) 実施整備延長/目標整備延長	整備目標の達成率	1625 m	4800 m	34%	14	
			現状	目標	達成度	目標年度	
指標2	区画道路整備の実施計画に対する達成率(H11～H14年度) 実施整備延長/目標整備延長	整備目標の達成率	2275 m	18800 m	12%	14	
			現状	目標	達成度	目標年度	
指標3	狭あいな道路の拡幅整備の実施計画に対する達成率(H11～H14年度)	整備目標の達成率	7951 単位	17900 単位	44%	14	
			現状	目標	達成度	目標年度	

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

- 身近な生活道路の整備は、地域住民の安全で快適な生活環境の確保等に大きく寄与する事業であると同時に、防災機能の向上の面からも有効な事業であるため、未整備箇所については早期整備が求められている。

## 6 有効性…期待される効果があがっているか

・整備をすることにより、歩行者及び車両の安全な通行が確保されている。また、地区集散道路の整備により、地域住民の最も身近な道路である市道への通過車両の進入抑制に効果があがっている。

## 7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

・整備する道路幅員等は、通過交通量や周辺状況等を勘案して道路構造令等の関係法令を遵守し決定しており、適切に整備されている。

・整備の実施に当たっては、危険な箇所から優先的に整備を行なうなど、早期に事業効果が得られる事を考慮し整備を実施している。

## 8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

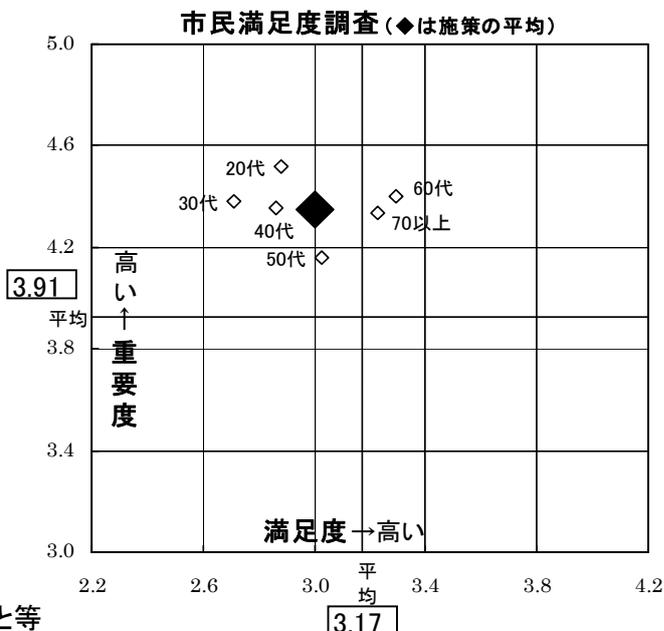
◆この施策の満足度は、3.005で、調査した51施策の中で46番目です。

◆この施策の重要度は、4.347で、調査した51施策の中で3番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.949で、調査した51施策の中で3番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、50歳代で最も低くなっています。20歳代及び30歳代の比較的若い年齢層で改善要望が高くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

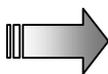


## 9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・整備財源の確保
- ・幹線道路との整備の整合
- ・市道整備(区画道路)における整備順位計画の策定。
- ・寄付道路拡幅に伴う住民の合意形成

## 10 今後の方向性

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し



### 説明及び具体的内容

身近な生活道路の整備は、地域住民等にとって利便性、安全性、防災機能の向上の観点から、重要な事業であるが、事業実施には、相当の事業費を必要とする事業である。

しかし、現在の財政事情は大変厳しい状況であるため、区画道路等についても整備順位を明確にした中で順次整備を行なう。なお、財源については、積極的に特定財源の確保に努める。

## 11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input checked="" type="checkbox"/> C

事業の費用対効果や必要性を見極め、費用の圧縮や優先順位を明らかにして取り組むこと。

## 12 外部意見

説明  
費用対効果の検証をしつつ、優先順位を付与し、着実に整備を進める必要がある。

